

5. 高等部の進路指導について

①進路指導のポイント

- 1) 普段の学習（日常生活の指導、作業学習（労働・しごと）、自立活動、教科、LHR、総合的な探求等）や学校生活全般を通して、総合的に「生きる力」を育む
- 2) 本人・保護者の希望をもとに、関係機関と協力しながら卒業後の生活全体を検討していく
- 3) 本人の目標や支援者のねらいを明確にして就業体験（実習）に臨み、振り返りを通して課題を明確にして普段の学習でその改善に取り組み、次の就業体験（実習）に生かす

②就業体験（実習）について（高等部1～3年生）

- 1) ねらい
1年・・・会社や作業所を知る実習（地元の事業所を中心に）
2年・・・将来の進路を考える実習（進路先として想定される事業所）
3年・・・進路五者懇談会での方向性をもとに、自分の進路先を見つけるための実習
- 2) 就業体験（実習）のもち方

学年	障害福祉サービス事業所・企業等での実習	見学・進学関係等
1年	◇年に1回（夏休み中心に） 1日程度 ※時期や日数については、個々の実態や体験先の都合によって変わる可能性があります。	・障害福祉サービス事業所・企業等見学（可能な範囲で） ・大学オープンキャンパス等（夏休み）
2年	◇年に2回（夏休みに1回と秋～冬に1回） 2日程度 ※時期や日数については、個々の実態や体験先の都合によって変わる可能性があります。 ※就労アセスメントに係る実習も通常の実習に含みます。	・障害福祉サービス事業所・企業等見学（必要に応じて） ・大学オープンキャンパス等（夏休み）
3年	◇年に2～3回（随時個別の状況に合わせて実施） 3～5日程度（状況に応じて） 年間を通して随時実施 ※就労アセスメントに係る実習も通常の実習に含みます。	・障害福祉サービス事業所・企業等見学（随時） ・大学オープンキャンパス等（夏休み）

- ・日数や回数、時期については、状況や事業所等の都合により変更する場合がありますので、ご理解をお願いします。
- ・実習中は「実習日誌」のご記入をお願いします。また実習後（主に最終日）には振り返りを行いますので、保護者の皆様のご参加をお願いします。実習中の参観につきましては、実習のねらいや本人の様子、事業所の状況等もふまえて、事業所との相談になりますので、ご了承下さい。
- ・実習中、本人のご家庭での様子は次に向けた大変貴重な情報となります。今後の進路指導に生かしていくためにも、ご家庭での様子につきまして、ご確認をお願いいたします。
- ・実習は担任が引率して現地で指導することが基本と考えていますが、職員体制の都合により難しいことが多くなっています。保護者の皆様には送迎以外にも引率のご協力をお願いせざるを得ない場合もありますので、その際には改めてご相談させていただきます。

③スムーズな地域移行と個別の移行支援計画について（高等部3年生）

- 1) 進路五者懇談会（4月第3週）
出席者： 本人、保護者、行政、相談支援事業所、働き暮らし応援センター、担任、進路 担当等
内 容： 卒業後の生活に向けて、進路先希望や生活支援等について話し合う場
- 2) 移行支援会議（2月中旬）
出席者： 五者懇談会の出席者に進路先の事業所を加えたメンバー
内 容： 卒業後に進路先や地域、関係機関へのスムーズな移行に向けた話し合いの場

☆「個別の移行支援計画」

個別の移行支援計画は、本人のプロフィールをはじめ、在学中の実習の取り組みや関係機関との連携記録等、スムーズに地域移行するための資料として作成します。もちろん本人の思いや保護者の意見も取り入れて完成作成します。ご理解とご協力をお願いします。

④その他

- ・保護者対象の「進路研修会」を学部やPTA主催で開催しています。進路に関する最新情報や将来に向けた内容を毎年検討して実施しています。
- ・20歳を迎える卒業生を対象に例年「20歳を祝う会」を開催しています。また、同窓会活動への支援も行っています。
- ・高等部では、進路指導を円滑に行うため、関係機関へ必要な個人情報の提供をお願いしています。ご理解の上、ご協力をお願いします。